

2016（平成28）年度 福岡県立大学社会福祉学会 第8回大会

大会開催のご案内

大会テーマ

「地域包括支援体制を考える ～変化を生み出すソーシャルアクション～」

開催のご挨拶

ここに、第8回の福岡県立大学社会福祉学会の開催を案内できますことを会員の皆様、院生、在学生とともに祝いたいと思います。とくに、この案内を学会としての最初のニュースレターの刊行とともに案内できますことを大変嬉しく思います。

ところで、今回の学会テーマは、「地域包括支援体制を考える～変化を生み出すソーシャルアクション～」です。本テーマでの基調講演を村上須賀子先生にお願いすることになりました。

本学会の前会長である大垣京子氏は、現在日本医療ソーシャルワーク学会会長をされています。現在も本学会の監事であります大垣前会長のご推薦で、日本医療ソーシャルワーク学会副会長の村上先生を本学会にお迎えすることができることになりました。改めて大垣前会長に感謝申し上げたいと思います。

こうして、このたび“変化を生み出す”ソーシャルワーク実践について改めて学ぶ機会を得ることができました。また、今回も3つの参加型の分科会が、関係者のご尽力によって設けられることになりました。

本学会が、会員、卒業生、在学生、教員等のよき交流の機会となり、刺激の機会となることを願い、同時に、関係者のご支援、ご協力への感謝を込め第8回大会開催の挨拶とさせていただきます。

2017年1月吉日
福岡県立大学社会福祉学会 会長 細井 勇

福岡県立大学社会福祉学会 第8回大会 開催要項

I. 大会開催要項

1. 大会テーマ : 「地域包括支援体制を考える
～変化を生み出すソーシャルアクション～」
2. 日 時 : 2017年3月4日(土) 13:00～18:00
(12:30 受付開始)
3. 会 場 : 福岡県立大学 大講義室
(田川市伊田 4395 TEL: 0947-42-2118)
4. プログラム

12:30～	受付
13:00～13:10	開会式 学長 柴田 洋三郎、会長 細井 勇
13:10～14:25	基調講演(リカレントセミナー) 「地域包括支援体制を考える ～変化を生み出すソーシャルアクション～」 講師: 村上 須賀子 先生 (日本医療ソーシャルワーク学会 副会長)
14:35～17:00	分科会(児童福祉分野、医療福祉分野、 高齢者福祉・障害者福祉分野)
17:10～17:40	全体会(各分科会の報告)、閉会式
17:40～18:00	総会
18:30～20:30	懇親会 会場: 稚加栄 (田川市番田町 6-23 TEL: 0947-42-1245)

II. タイムスケジュール

12:30 ～ 13:00	13:00 ～ 13:10	13:10 ～ 14:25	14:25 ～ 14:35	14:35 ～ 17:00	17:00 ～ 17:10	17:10 ～ 17:40	17:40 ～ 18:00	18:30 ～ 20:30
受付	開会式	基調講演	休憩	分科会 (児童福祉分野、 医療福祉分野、高 齢者福祉・障害者 福祉分野)	休憩	全体会、 閉会式	総会	懇親会

※基調講演については、福岡県立大学共催のリカレントセミナーと同時開催としますので、学会員以外の方は無料で参加いただけます。

Ⅲ. 基調講演について

◆ 講師 ◆ 村上 須賀子 先生
日本医療ソーシャルワーク学会 副会長



◆ プロフィール ◆

略歴

広島文化学園大学客員教授
日本医療ソーシャルワーク学会副会長
NPO 法人 日本医療ソーシャルワーク研究会理事長

1969年 広島女子大学社会福祉学科卒。摂南大学大学院経営情報学修士課程修了後、吉備国際大学大学院にて博士（社会福祉学）を取得。学部卒業後より医療ソーシャルワーカーとして広島市立総合病院に29年間勤務。大学教員としては、広島国際大学、宇部フロンティア大学、県立広島大学、兵庫大学を経て、2016年10月より現職。医療ソーシャルワーカー職をこよなく愛し医療ソーシャルワーカー養成課程の開設を担う傍ら「日本医療ソーシャルワーク学会」「NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会」等、臨床現場の医療ソーシャルワーカーを支えるための研究や研修活動を続けている。

著書

「新時代の医療ソーシャルワークの理論と実際」（単著）大学教育出版 2005
「医療ソーシャルワーカー新時代」（共編著）勁草書房 2005
「ソーシャルワーカーのための病院実習ガイドブック」（共編著）勁草書房 2007
「在宅医療ソーシャルワーク」（共編著）勁草書房 2008
「実践的医療ソーシャルワーク論 改訂第2版」（共編著）金原出版 2009
「新・医療福祉学概論」（共編著）川島書店 2010
「保健医療サービス 第2版」（現代の社会福祉士養成シリーズ）（共編著）久美出版 2011
「医療ソーシャルワーカーのカー患者と歩む専門職—」（共編著）日本医療ソーシャルワーク学会 2012
「変化を生み出すソーシャルワーク—ヒロシマMSWの生活史から—」（単著）大学教育出版 2015
「現代社会と福祉」（社会福祉士養成コース）（共編著）ふくろう出版 2016
「医療福祉総合ガイドブック 2016年度版」（編集代表）医学書院、年度版の発行を続けている。

IV. 分科会について

◆ 児童福祉分野 ◆

テーマ：「ネグレクト防止に向けた家族支援～地域で取り組むソーシャルワーク～」

2016年6月、児童福祉法等の一部を改正する法律が公布されました。今回の法改正により、児童虐待の発生予防や発生時の迅速・的確な対応、さらには被虐待児童への自立支援などが定められました。なかでも、これまで「保護の対象」として捉えられていた児童が「権利の主体」としてした理念の明確化は大きな変更点になります。1994年に「児童の権利条約（児童の権利に関する条約）」を批准してから過ぎた20年以上の歳月は、わが国がいかに児童の権利を尊重して容認するまでに時間を要したかを物語っています。

一方で、全国の児童相談所に寄せられる児童虐待相談対応件数が10万件を超えるなか、とりわけ対応が難しいのは恒常的なネグレクト環境で生活する児童やその家族への支援です。ネグレクトに関しては児童相談所をはじめとする関係機関も積極的な介入を行うことが難しく、それらが誘因となり不登校、非行、ひきこもりなど二次的な問題を引き起こすことも少なくありません。今後ますます市町村（＝地域）での取り組みが問われるなか、児童の権利侵害である虐待の早期発見・未然防止に向けたネグレクト問題への対応は極めて重要になります。そこで本分科会では、地域で活躍する教育・医療・行政の各専門職の報告からネグレクト防止に向けた家族支援の現状と課題について理解を深めたいと、これから地域で取り組むべきソーシャルワークについて検討していきたいと思っております。

発表者：教育 久山町教育委員会 スクールソーシャルワーカー 河浦 龍生
（福岡市子ども家庭支援センター はぐはぐ センター長）

医療 飯塚病院 小児科 医療ソーシャルワーカー 津村 由紀
（児童虐待防止医療ネットワーク事業拠点病院
虐待専門コーディネーター）

行政 田川市役所 子育て支援課 保健師 長野 美紀

コーディネーター：奥村 賢一 （福岡県立大学人間社会学部 准教授）

※敬称略

◆ 医療福祉分野 ◆

テーマ：「在宅移行支援を取り巻くソーシャルワーク実践」

本分科会では、基調講演「地域包括支援体制を考える ～変化を生み出すソーシャルアクション～」の観点を踏まえ、在宅移行支援をテーマとした発題と議論を行います。

2014年の第六次医療法改正では、病床機能報告制度や地域医療構想の策定、在宅医療の推進が掲げられるなど、病院が地域のなかで果たす役割は時代とともに刻々と変化しています。また、「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現 ―新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン―」（厚生労働省 2015年）、「ニッポン一億総活躍プラン」（2016年6月2日閣議決定）などの地域包括ケアシステムの構築に向けた政策動向も鑑みると、医療と福祉の連携は今後ますます重要になると予想されます。そこで本分科会では、病院からの在宅移行支援を題材に、地域包括支援体制の構築に向けたソーシャルアクションのための課題提起を行いたいと考えています。

発表者：須田 竜太 （Q-ACT北九州チーム 精神保健福祉士）

戸丸 純一 （一般社団法人 とまるソーシャルステーション）

堀川 麻衣 （社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院
医療ソーシャルワーカー）

コーディネーター：河野 高志 （福岡県立大学人間社会学部 講師）

コメンテーター：並松 秀邦
（福岡県立大学社会福祉学会理事
日本郵政株式会社 福岡逡信病院 医療ソーシャルワーカー）

※敬称略

◆ 高齢者福祉・障害者福祉分野 ◆

テーマ：「障害者の重度化、高齢化問題～施設から在宅への転換～」

高齢化の波は深刻化を増しています。

平成28年10月現在、福岡県では高齢化率が20%以上の団体は58団体（28市28町2村）で、県内60市町村のうち9割以上の団体で、5人に1人以上が高齢者となっています。

当然ながら、その中で障害者も高齢化、重度化してきています。

障害者の重度化、高齢化問題。

それぞれに共通するキーワードは在宅支援であると思います。一方で、その陰には地域包括支援ケアシステムの名の下、介護保険の統合を始めたとした社会福祉のサービスの一元化も見え隠れしている気がします。

はたして、住み慣れた地域で障害者、高齢者の方々はいかにしていく生活していけるか？

本分科会は、高齢者支援に携わる支援者、長期入院をしている精神障害者の方々の退院促進を実践したPSW、そして意志決定支援の要の一つである、日常生活自立支援事業に取り組まれている社会福祉協議会の専門相談員、それぞれの立場から、障害者の重度化と高齢化問題について考え、いかにしてクライアントである高齢者、障害者の方々の権利を擁護し、自己決定を尊重しながらケースワークを実践していくか、課題も併せて報告して頂く予定です。

ぜひとも、本分科会へのご参加の程、よろしくお願い致します。

そして、グループワークを通じて、参加者間の交流と様々な意見交換をしていきたいと思います。

学会当日に皆様方とお会い出来ることを楽しみにしています。

発表者： 「高齢者の立場から（高齢者支援に携わる支援者）」

木村 和宣 （NPO 法人 地域たすけあいの会 法令遵守責任者）

「障害者の立場から（医療機関）」

内野 秀雄 （油山病院 地域医療連携部 係長 精神保健福祉士）

「権利擁護の立場から（社会福祉協議会）」

鬼頭 紀行 （飯塚市社会福祉協議会 地域課主任 権利擁護センター
専門相談員）

コーディネーター：江頭 関巳 （福岡県立大学社会福祉学会理事、
医療法人 社団豊永会 飯塚記念病院 認知症医療センター 室長）

コメンテーター：寺島 正博 （福岡県立大学人間社会学部 講師）

※敬称略

V. 学会参加費及び懇親会参加費

	会 員	非会員	大学院生	学 生
学会参加費	2000 円	3000 円	2000 円	500 円
懇親会費	4500 円	4500 円	2000 円	2000 円

VI. 参加申し込み方法

基調講演及び分科会にご参加の方は、別紙 1 の「参加申込書」に必要事項を記入の上、2月24日(金)までに、FAX または E-mail にてお申し込みください。

FAX 番号：0947-42-1491（社会福祉学科直通）

E-mail：k-hata@fukuoka-pu.ac.jp（社会福祉学科 畑）

◆ ご質問等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

福岡県立大学社会福祉学会第8回大会 事務局

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

福岡県田川市伊田 4395 番地

TEL：0947-42-2118（代表） FAX：0947-42-1491

事務局長 本郷 秀和 h-hongo@fukuoka-pu.ac.jp

事務局 畑 香理 k-hata@fukuoka-pu.ac.jp

(別紙1)

FAX : 0947-42-1491

福岡県立大学社会福祉学科行

福岡県立大学社会福祉学会第8回大会 参加申込書

名前

住所

所属

卒業年度 (福岡県立大学卒業生の方のみ) :

TEL:

E-mail:

※ ご提供いただきました「個人情報」につきましては、本学会以外の目的では使用いたしません。

①基調講演 (参加費無料)

参加する

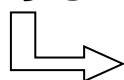
参加しない

②分科会 (参加費が必要です : 学会員 2000 円、非学会員 3000 円)

大学院生 2000 円、学部生 500 円)

参加する

参加しない



参加の方は、希望する分野を○で囲んでください。

第1希望 : (①児童福祉、②医療福祉、③高齢者福祉・障害者福祉)

第2希望 : (①児童福祉、②医療福祉、③高齢者福祉・障害者福祉)

③懇親会 (参加費 4500 円、大学院生・学部生の方は 2000 円)

参加する

参加しない

④その他、学会へのご要望等がございましたらお書き下さい。

2月24日(水)締切